

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おりーぶおりーぶ		公表日		2025年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全のため、バギー利用者とスペースを分けて活動を行うことがある。	強度行動障害児と重度心身障害児・肢体不自由児がともに活動している。すみ分けはしているが事故に十分気を付ける必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準に準じた人員配置である。	特に課題はない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレや表入り口には手すりがあり、室内はバリアフリーになっている。	特に課題はない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃、消毒をしている。活動内容がわかるようにすけっじュールがボードに貼ってある。	特に課題はない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		着替えやクールダウンする部屋があり、必要な場合はつい立てで仕切る等、工夫しています。	特に課題はない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々、話し合いを行い、参加できない職員には書面にまとめて共有している。	特に課題はない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価を保護者に伝え、必要に応じて保護者の意向を確認している。	特に課題はない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや会議を行い、全職員で意見を出し合い、業務改善に繋げている。	特に課題はない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は実施していないが、前向きに考えている。	費用的な折り合いが付けばよい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人全体での研修を行っている。	事業所内で小さな研修が日々行われるとよい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表している。	特に課題はない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に保護者と面談を行い、面談内容をふまえ、今後の支援会議を実施して作成している。	課題分析シートを利用して分析するとよい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書は全職員が目を通し、計画に沿った支援を行っている。	特に課題はない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し計画に沿って支援している。	特に課題はない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		学校や病院で使用した検査を元にアセスメントを深めている。	事業所には検査フォーマットはないため、事業所外で検査をした結果を持参してもらい法人が作成したアセスメントに落としている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って計画を立てている。5領域の内容を踏まえながら具体的な支援につなげている。	特に課題はない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		子どもが楽しく参加できる活動を職員で話し合い考えている。	特に課題はない。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの様子や発達を考慮しながら新しい活動を取り入れるようにしている。	特に課題はない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ支援が行われている。	特に課題はない。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを行い、活動内容等の情報共有している。	特に課題はない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は気づいた点や改善点など話し合い、情報共有している。	特に課題はない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用後は、子どもの様子や申し送りを記録している。支援の検討や改善に繋げている。	特に課題はない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に面談を行っている。新しい課題についてや支援の見直しもしている。	特に課題はない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って複数組み合わせ、個々の特性に合わせた支援を行っている。	特に課題はない。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で選択肢を用意し、自分で選択して活動に取り組んでいけるようにしている。	特に課題はない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者が参画している。	必用に応じてお子さんとよく関る支援者も同関することがある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携している。	特に課題はない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校へ送迎時に申し送り等で情報共有している。	特に課題はない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて児童発達支援センターと連携をとり、情報共有している。	特に課題はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者会議に参加し、情報共有している。	特に課題はない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内に児童発達支援センターがあるため、スーパーバイズや助言、研修を受けている。	地域の児童発達支援センターが同法人なので、何かあればすぐに対応している。課題は特にない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○		散歩やお買い物等で地域の子ともと交流している。今年度はボーリングに行った。	放課後等児童クラブや児童館に行くことは難しい。合理的配慮がある環境なら可能性がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人の代表が参加している。	特に課題はない。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳、面談等で情報共有している。	特に課題はない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人でペアレントトレーニングを実施している。	特に課題はない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し不明な点などをその都度お伺いし説明を行っている。	特に課題はない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談の際に保護者のご意向を確認している。	特に課題はない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成後は保護者に説明し同意を得てから支援している。	特に課題はない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じ保護者と面談をして対応している。	特に課題はない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		参観日や茶話会を開催し、保護者や兄弟同士の交流や情報交換する機会を設けている。	特に課題はない。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ丁寧な対応を心掛けています。マニュアルに沿って報告を行い、再発防止に努めている。	特に課題はない。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		イベントがある時はSNSを利用して発信している。	イベントだけではなく、日常的な場面についても保護者にお伝えしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意しています。	特に課題はない。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉の選択等一人一人に合わせた伝え方をし、配慮している。	特に課題はない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人ではフットサルや子ども食堂を開催している。	課題はないが、保護者のなかには開かれた事業を望まない方もいる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに沿った対策をしている。	特に課題はない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一回地震、火災等の災害に備え、避難訓練を行なっている。	特に課題はない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前のアセスメントで子どもの健康面の状況について確認し、変更があった時には、その都度記録している。	特に課題はない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。	特に課題はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成しており、必要な内容は実施している。	特に課題はない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画については保護者に周知している。	特に課題はない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		虐待に関する社内研修に参加している。	特に課題はない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		契約時に保護者に説明し同意を得ている。	特に課題はない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を含めた虐待防止研修は法人主催の研修を受けている。	特に課題はない。